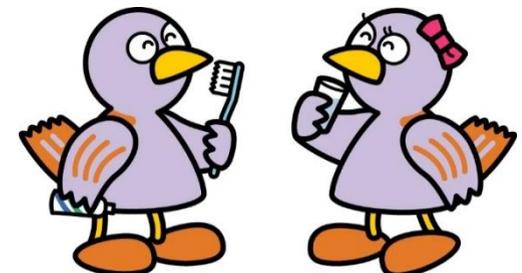


埼玉県南部工業用水道長期ビジョン実績評価結果(令和5年度)

各実現方策及び取組内容の評価結果

(1)利用者との相互理解の深耕		
ア. 利用者との対話	利用者との対話を推進するため、受水事業所訪問やオンライン形式による意見交換を実施した。また、受水事業所説明会において、事業環境や料金改定に関する県の考え方を説明して意見交換を行い、全事業所に対して意見・質問を募集した。料金改定については、引き続き受水事業所と協議を進め、丁寧な説明に努める必要がある。	概ね順調
イ. 利用者が理解しやすい広報活動の実施	年次報告書等により、南部工業用水道事業の現状及び取組について受水事業所の理解が深まるよう情報発信を行った。	
(2)経営改革の推進		
ア. 施設・管路の適正化	最新の水需要予測に基づき、施設規模の見直しを盛り込んだ施設整備計画を策定し、需要減少に応じて余剰施設を廃止することとした。また、管路については、更新費用等の抑制を図るため、管口径の縮小や路線の統合等による管網の合理化について検討した。	概ね順調
イ. 経営基盤の強化	設備点検を適切に実施し、その結果をもとに長期修繕計画の見直しを実施した。また、次期料金算定に向け、資産維持費や長期前受金控除を項目に加えた収支シミュレーション等を実施した。	
ウ. 財務運営の効率化	年次報告書による経営の健全性・効率性を評価した指標及び決算値等の分析を実施した。また、中長期の投資計画を織り込んだ様々な財政シミュレーションを実施した。	
エ. 組織体制の強化	企業局職員研修計画に基づき継続的に技術継承を行った。	
(3)災害・危機に強い工業用水道の構築		
ア. 事故・災害の予防対策の実施	柿木浄水場の2系1号沈でん池耐震化及び大久保浄水場のⅡ系配水池の耐震補強工事を実施した。また、長期的な視点により浄水場更新計画や管路更新計画を検討した。	順調
イ. 緊急時の体制強化	各種訓練を実施するとともに、緊急時対応マニュアルを見直すことで緊急時の体制強化に努めている。	



埼玉県マスコット「コバトン」「さいたまっち」